

MAXHUBで
社員間のファイル共有がスムーズに

MAXHUB

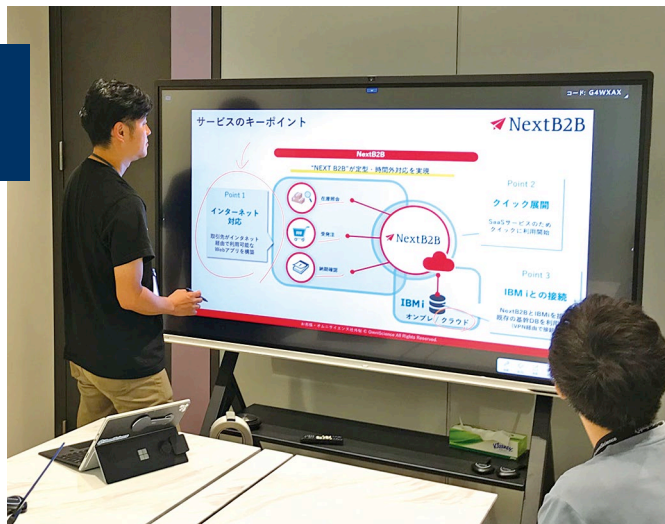


企業名 : 株式会社オムニサイエンス

業種 : クラウド・インテグレーター

利用シーン : 社内会議

企業概要 : 「Legacy With DX」をビジョンに掲げ、IBM社の基幹システムIBM i 情報資産と、新しいテクノロジーの融合でDXの実現に向けたプロダクト・サービスを開発、提供している。



導入前の課題

- » ホワイトボードに書いた内容を写真で保存
- » WEB会議時に複数のケーブルを接続する必要があり、手間がかかっていた
- » 「モニター」「ホワイトボード」「ケーブル」によって会議室が手狭になっていた



導入後の変化

- » ホワイトボードに書いた内容をクラウドストレージに保存・共有
- » ワンタッチで操作可能になり、会議前の準備が不要になった
- » 「モニター」「ホワイトボード」が一体化、ケーブルレスで会議室スペースを有効活用できた



当社のビジネスパートナーである株式会社オムニサイエンス様。
"チャットツール"が社内コミュニケーション基盤である中、MAXHUBをどのように活用しているのか、
その効果について代表取締役社長の藤井様にお話を伺いました。

MAXHUB導入のきっかけ

イグアス: 御社は昨年10月弊社が販売開始をした直後にご導入いただきました。導入のきっかけについて教えてください。

オムニサイエンス様: イグアスさんとはビジネスパートナーとして日頃から深くお付き合いしている中で、担当の方から「新商材を持ってきました!」とご紹介いただいたのがきっかけでした。

MAXHUBのような"コミュニケーションボード"は以前から知っていたものの、会議や社員間の打合せに必要な機材は全て社内に揃っているため、当初導入する予定はありませんでした。ただ、ちょうど事務所を移転するタイミングでもあり、どのような機能を持った製品なのか興味があったので、デモを見せていただきました。

イグアス: デモにより、MAXHUBのどのような点を魅力的に感じていただけただのですか？

オムニサイエンス様: 弊社は社員間で思いついたアイデアを説明するのに、よくホワイトボードを使います。これまでは、書いた内容をスマホカメラで撮影し保存していました。

少人数であれば保存した内容をチャットツールで転送し手間なく共有できるのですが、人数が増えると手間がかかってしまいます。

その点、MAXHUBの共有機能を使えばホワイトボードに書いた内容をクラウドストレージに保存し社内で共有、会議後すぐに皆が確認でき情報共有スムーズになるのでは？と考えたのが導入の決め手です。



MAXHUB導入で会議全体を効率化

イグアス: 導入後、何か変化はありましたでしょうか。

オムニサイエンス様: 今お話ししたホワイトボードの共有機能は有効でしたね。この機能があることで、人数が集まる会議ではMAXHUBを活用する回数が増えました。

たまにクラウドストレージへの保存が上手くいかず、「あれっ？」ということもありますが、機械なので仕方ないかなと思っています(笑)

また、導入時はコロナ禍でテレワークを実施していた背景もあり、本社と自宅を繋いでWEB会議が頻繁に行われていました。その度に本社側はモニターやマイクを繋いで会議のセットを行うのも手間ではありましたが、MAXHUBはワンタッチで会議を始められるので、スムーズに会議が始められるようになりましたね。

ホワイトボードは打合せに必須でしたので、会議室には基本的にモニターとホワイトボードを1台ずつ置いて少し窮屈でしたが、モニターとホワイトボードが一体化したので会議室が広く感じますし、ケーブルもないのですっきりしました。



オムニサイエンス社流 MAXHUB今後の活用

イグアス: 機能性の高いMAXHUBですが、新たな活用方法について何かお考えでしょうか？

オムニサイエンス様: そうですね…。MAXHUB備え付けの機能だけでなく、相性の良いアプリを見つけて活用していけば、より有効活用できると思うので、今後はさまざまなWEBアプリを試して、今以上に利便性のある機械に進化させていきたいですね。

イグアス: MAXHUBでWEBアプリケーションを使うという発想は非常に勉強になりました。これがモニターでは難しい、MAXHUBの魅力の1つかもしれません。本日はありがとうございました！

